



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 棚橋 祥紀 TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	21,590	△10.2	1,003	5.3	1,182	11.5	756	7.3
28年3月期第3四半期	24,039	23.3	952	61.8	1,060	50.4	705	74.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 467百万円 (0.1%) 28年3月期第3四半期 467百万円 (14.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	43.07	41.57
28年3月期第3四半期	40.14	38.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	29,993	24,255	78.9
28年3月期	29,798	24,027	78.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 23,667百万円 28年3月期 23,473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	7.00	ー	7.00	14.00
29年3月期	ー	7.00	ー		
29年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	△5.6	850	△16.0	980	△15.7	600	△18.9	34.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	18,218,901株	28年3月期	18,218,901株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	653,577株	28年3月期	653,557株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	17,565,333株	28年3月期3Q	17,565,407株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年初以来の円高進行から期後半にかけて円安に転じ、企業の生産活動や雇用環境の改善がみられるものの、設備投資や個人消費は抑制傾向が続き、景気回復は足踏み状態となっております。また、米国大統領選後の経済政策の影響や英国のEU離脱交渉の行方、中国をはじめとする新興国経済の停滞など、先行きについて不透明な状況も懸念されます。

このような状況の下、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高215億90百万円(前年同期比10.2%減)、営業利益10億3百万円(同5.3%増)、経常利益11億82百万円(同11.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億56百万円(同7.3%増)となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔設計開発ソリューション事業〕

設計開発ソリューション事業は、高付加価値製商品及びサービスの提供により、新規顧客開拓や既存顧客との関係強化を図るなど積極的な営業活動に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用(EDA)ソフトウェア部門は、新規顧客開拓や新規製品の販売が順調に推移したものの、大手顧客向け販売権の移管により前年同期実績には及びませんでした。自社製CPUボード等の組込み製品は、インフラ向け需要が減少したため、売上が落ち込みました。また、アイティアアクセス株式会社の組込みソフトウェアのライセンス販売及び受託開発も前年同期実績には及びませんでした。一方、ガイオ・テクノロジー株式会社の組込みソフト検証ツール及びエンジニアリングサービスは、車載関連向けのエンジニアリングサービスの需要増などにより引き続き好調に推移いたしました。三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスも、下期に入りやや減速がみられるものの概ね堅調に推移し売上が増加いたしました。

その結果、当事業の売上高は126億2百万円(前年同期比3.8%減)、セグメント利益は7億60百万円(同17.7%減)となりました。

〔プロダクトソリューション事業〕

プロダクトソリューション事業は、半導体メモリー市場、OA・FA市場の既存顧客を中心に当社グループのエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に注力してまいりました。また、顧客ニーズに対応した製品の開発、商品の開拓に積極的に取り組んでまいりました。自社製テストシステムは、メモリー向けテスターの国内販売が低調だったものの、同テスターの海外向けやイメージセンサー向けテスターの販売増により順調に推移いたしました。ハードディスクドライブを含む電子部品部門においては、OA市場、民生市場向けが前年同期実績に及ばなかったことに加え、前年度の高画質デジタル機器対応チップの取引終息の影響により売上高は減少いたしました。また、STAr Technologies, Inc.は、顧客ファウンドリの需要回復により、テストシステム及びプローブカード販売が増加し売上に貢献いたしました。

その結果、当事業の売上高は89億88百万円(同17.8%減)、セグメント利益は6億8百万円(同55.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、299億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億94百万円増加しております。これは主に、受取手形及び売掛金や商品及び製品が減少したものの、現金及び預金が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は57億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少しております。これは主に、未払法人税等が減少したことなどによるものであります。

純資産は242億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億27百万円増加しております。これは主に、為替換算調整勘定が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は78.9%となり、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第2四半期連結会計期間より、ジェイ・エス・シー株式会社の株式を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,917,946	5,668,281
受取手形及び売掛金	7,561,942	6,324,012
商品及び製品	1,912,075	1,596,481
その他	2,662,209	2,550,066
貸倒引当金	△19,309	△632
流動資産合計	16,034,865	16,138,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,905,117	7,899,554
減価償却累計額	△4,073,091	△4,171,725
建物及び構築物（純額）	3,832,025	3,727,829
土地	5,665,131	5,665,131
その他	1,595,996	1,510,375
減価償却累計額	△1,102,336	△1,058,661
その他（純額）	493,659	451,714
有形固定資産合計	9,990,817	9,844,675
無形固定資産		
のれん	1,321,352	1,254,175
その他	349,759	340,827
無形固定資産合計	1,671,111	1,595,002
投資その他の資産		
投資有価証券	929,305	1,112,131
その他	1,172,897	1,303,341
貸倒引当金	△144	△2
投資その他の資産合計	2,102,059	2,415,471
固定資産合計	13,763,988	13,855,149
資産合計	29,798,853	29,993,357

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,303,040	1,279,036
未払法人税等	385,198	297,398
賞与引当金	139,895	264,878
役員賞与引当金	—	17,428
その他	3,414,138	3,328,933
流動負債合計	5,242,272	5,187,675
固定負債		
役員退職慰労引当金	78,705	86,945
退職給付に係る負債	160,586	181,498
その他	289,314	281,689
固定負債合計	528,606	550,133
負債合計	5,770,879	5,737,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	7,324,064	7,301,061
利益剰余金	5,818,853	6,329,468
自己株式	△258,574	△258,583
株主資本合計	23,401,503	23,889,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,028	80,971
繰延ヘッジ損益	3,119	△51,295
為替換算調整勘定	10,734	△260,248
退職給付に係る調整累計額	15,205	8,675
その他の包括利益累計額合計	72,087	△221,895
新株予約権	268,839	307,139
非支配株主持分	285,542	281,198
純資産合計	24,027,974	24,255,549
負債純資産合計	29,798,853	29,993,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	24,039,594	21,590,944
売上原価	17,955,436	15,399,433
売上総利益	6,084,157	6,191,510
販売費及び一般管理費	5,131,322	5,188,374
営業利益	952,835	1,003,135
営業外収益		
不動産賃貸料	322,913	341,935
その他	111,820	94,471
営業外収益合計	434,733	436,406
営業外費用		
不動産賃貸費用	257,753	250,992
その他	68,995	5,816
営業外費用合計	326,748	256,809
経常利益	1,060,820	1,182,733
特別利益		
段階取得に係る差益	44,492	—
固定資産売却益	7,103	3,912
投資有価証券売却益	13	1,757
特別利益合計	51,609	5,669
特別損失		
投資有価証券評価損	—	25,991
投資有価証券売却損	421	4,102
特別損失合計	421	30,093
税金等調整前四半期純利益	1,112,008	1,158,309
法人税等	384,904	388,965
四半期純利益	727,103	769,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	22,007	12,814
親会社株主に帰属する四半期純利益	705,095	756,529

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	727,103	769,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,858	37,943
繰延ヘッジ損益	8,370	△54,414
為替換算調整勘定	△235,552	△278,394
退職給付に係る調整額	△21,378	△6,529
その他の包括利益合計	△259,419	△301,394
四半期包括利益	467,683	467,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	452,184	462,546
非支配株主に係る四半期包括利益	15,499	5,403

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,104,747	10,934,847	24,039,594	—	24,039,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58,626	895	59,522	△59,522	—
計	13,163,374	10,935,743	24,099,117	△59,522	24,039,594
セグメント利益	924,354	391,734	1,316,089	△363,254	952,835

(注) 1. セグメント利益の調整額△363,254千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△357,929千円及び棚卸資産の調整額△5,324千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,602,378	8,988,565	21,590,944	—	21,590,944
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,963	3,143	43,106	△43,106	—
計	12,642,341	8,991,708	21,634,050	△43,106	21,590,944
セグメント利益	760,774	608,040	1,368,814	△365,678	1,003,135

(注) 1. セグメント利益の調整額△365,678千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△373,498千円及び棚卸資産の調整額7,819千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。